

じゃんぷ!

「今から鬼滅の刃の劇が始まります！」自分で描いた絵を人形のようにして、劇が始まりました。この劇にはどんなキャラクターが出てきても大丈夫。自分の好きなキャラクターが登場します。最近では、海の生き物が主役となっています。子供たちが考えるストーリーは、予測不可能。ままごとに置いてあるポウルの中を温泉にして、温泉旅行に行ったかと思えば、泣いてケンカも始まったりも…。発想力豊かな子供たちの言葉に、思わず笑ってしまいます。

作ることを楽しむ子、自分のペープサートを持って役になりきることを楽しむ子、みんなのやっている劇を観て楽しむ子など、子供たちの楽しみ方はそれぞれです

→「劇が始まるかどうか分からないから、ギター弾いたら始まるってことね。」と舞台の横に立つAくん。観劇を観た経験から、こういった言葉が出てきます。



↓「僕はさかなが好きだから、マグロね。」「じゃあ、僕はめっちゃ怖いサメにする。」友達と一緒に、役に分かれて遊んでいます。自分のイメージするものを絵に描くことを楽しんでいます。



←人形劇の舞台は、部屋の中だけではありません。お話の世界が外になると、園庭になります。概念に捉われないことなく、子供たちの自由な発想が、新たな展開を生み出します。



「みつけた！」土の中からぴょっこり。チューリップの芽が始めました。自然の小さな変化にも気付く子供たち。素敵な目をもっていますね!



帰りの会に、みんなで集って遊べるゲームをしています。

『大根抜き』では、2つのチームに分かれて始めます。誰が大根になるのか、抜く人になるのかなどチームのみんなで話し合って決めます。自分がやりたい、という思いを強く押すだけでなくチームの友達の思いを聞いて話し合います。話し合いを通して、自分の気持ちに折り合いをつけたり、相手の気持ちに気付いたりする姿を大切にしています。

